



* 「令和」になって1カ月

新天皇即位により元号が平成から令和になり1カ月が経ちました。昭和から平成への時と比較して、上皇・上皇后さまが誕生し違和感を覚えました。1カ月経ち、何となく馴染んできています。

我々の会員の間では、昭和天皇については、「国民から遠い存在」「親、兄弟が（昭和）天皇のために死んだ。」等の否定的な感想もありましたが、今の皇室については、被災地への訪問の際の心のこもった対応等に好感を持っている会員が多数でした。特に、美智子上皇后については、「立派な人で、敬意を抱いている。」との感想が多く、雅子皇后についても、「外交官としても活躍が期待できた人」「応援したい。」等の声があった。

天皇制については、「日本の貴重な伝統的制度であり、守らなければならない。」「明治以降の一時を除き、日本は昔から天皇を象徴としおり、象徴天皇制を続けていく必要がある。」等の肯定的な見解がある一方、「世襲である以上、どんな人間が天皇になるか分からない。」「生身の人間に象徴を期待するのは無理」「天皇には、表現の自由などの基本的人権が無く、権威ある奴隷ではないか。」「天皇の権威が高まりすぎると、神格化して危険な方向に行くおそれがある。」等の否定的な見解もありました。

また、「生前退位で若返ることは、良かった。」「女性天皇も良いのではないか。」「即位後朝見の儀などでの国民代表の辞は、行政府の長である安倍首相ではなく、立法府の長である衆議院議長が述べるべきだ。」「今の天皇は、光格天皇から始まった。」等、さまざまな見方がありました。



* 「男の居場所の会向日」について

我が「男の居場所」の会から8年前に分離して出来ました「男の居場所向日」の近況報告です。シニア男性の社会参画を促進するため、週に1回（金曜日の10:00~12:00の間、テーマについて真四角なテーブルを囲んで担当者が30分位話し、自由に討議し合う方式で、皆で意見を出し合い和気あいあいの雰囲気で行われていました。座席は前回と違う席に着く決まりでした。

向日市民共同センター「かけはし」を活動拠点に2011年に創立し、現在15名で活動しています。人間本来の喋りたい欲求を満足させ、仲間を多く持ち、第二の人生を楽しみ、かつ地域のお祭り等

にも係わりを持ち、地域社会に溶け込んだ元気な男性になることを目指している会です。

観桜会・桂川イオンで「万引き家族」映画鑑賞、向日市祭で恒例の「漢字テストや手相占い」を企画担当されて市民との交流を行っています。年末には豪華鍋料理で舌鼓等、皆さん笑顔で活発に活動されていました。

これから先、兄弟会同士で、合同でのイベント企画や密な交流ができればと願っています。



* 聴竹居について

大山崎の天王山山麓にある聴竹居は昭和初期の木造モダニズム建築の代表作であり、同時に環境



共生住宅でもある。生活の中心となる本屋と書斎兼趣味の別棟である閑屋と茶室の計3棟から成る。京都帝国大学(現京都大学)教授の藤井厚二(1888~1938年)が建築環境工学の理論に基づき設計しており、建築家が建てた自邸の重要文化財指定は府内では初めてである。

藤井先生は、日本の気候風土や日本人の感性に合った和洋折衷の木造住宅を追求。本屋(母屋)は、幾何学的なデザインと伝統的なしつらえを融合し、夏の暑さ対策として床下から天井に空気を逃す構造など随所に快適さを得る工夫が施されている。閑屋と茶室は、数寄屋の意匠を基調としながら、洋間を設ける自由な構成となっている。見学可 聴竹居のホームページ「申し込みホーム」からお願いします。

*超高齢社会を心豊かに生きるためには

京都大学こころの未来研究センター 河合俊雄教授 2019/5/12 講演会記録

平均寿命の伸び、1947年：男50歳・女54歳でしたが、2017年：男81歳・女87歳です。この高齢化社会を心豊かに生きるためには、「からだ」「きずな」「生き方」の3観点から考える必要があります。

① 高齢者の孤立：日本は、世界的に見ても孤立度は、世界一です。西洋人・相互独立的自己(自己アピール力)、日本人・相互協調的自己(共同体・場の中)、日本人は、個人の力でつながりを見つける力が弱い。 ② 共依存のリスク：頼りにしてくれている→実は世話されている・世話をしあげている→実は頼っている 身を引く勇気も必要 本当につながりは難しい。 ③ コントロールの弱まり：前頭前野の衰え・コントロールや抑制が効かない。ごまかしてきた自分がむき出しになる。年と共に人格が円満になるというのは勘違い。 ④ 衰えと補い：認知機能が衰え・話を作る-人のせいにする-衰えることは認めづらい ⑤ 受け入れ方：老人の変な発言→アイヌ 神のことば 妄想には、意味がある。 ⑥ 死-生きる意味：人は死よりも生きることを恐れている。 ⑦ 死と新生・死の逆説と超越：共有する、しかし間違えるとカルトに→個別性 生きているものが死者とつながっていき、亡くなった者が生とつながり生に還ってくる。



結論：終末期の高齢者を支えるのは、具体的な生きる目標です。

*お得情報

体力測定会(京都先端科学大学健康医療学部主催)

6月22日(土)・23日(日) 10:00~16:00 京都先端科学大学太秦キャンパス北館3階
みらいホール 京都地下鉄「太秦天神川駅」下車3分 受診料：無料 詳しい測定が評判

お問合せ先： 0771-56-8931 谷口有子 0771-29-2390 瀧本真己---申し込み必要

*分科会紹介---ハイキング分科会(会設立初期から続く分科会)

積雪期を除いて折々の時期の近郊の山々に登ります。何とかと煙は高い所へ行きたがると言います。苦勞した登山・飛び切りの景色・快い疲労感が満喫されます。低山といえども侮ってはいけません。日々のトレーニングを欠かさず、自分の体力を鑑み、ご参加をお願いします。